

咽頭痛、胸苦、胸痛などを呈した COVID-19 の疑いのある患者に中製薬を指導して功を奏した1症例

東京中医薬研究会
ナチュラルくらぶヤマダ薬局 薬剤師
山田康嗣

日本では4月から5月にかけて COVID-19 の拡大がみられるなか、当初は PCR 検査が十分にできない現状で、医療体制が整っていない状態だった。当薬局でも、ノドの痛み、咳が出る、胸が苦しい、息苦しい、胸が痛む、だるい等の辛い症状を訴えて来局される COVID-19 疑いのある患者は少なからずいた。

その中で、44 歳女性、喘息のある患者で通常シングレア、レルベアで治まっていたが、今回は咽喉痛、咳、特に酷い胸苦、胸痛、息苦しさが治まらず来局。肺疾患は感染高リスクに属するため、中国での COVID-19 対策の治療経験を参考に中製薬（銀翹解毒散+麻杏止咳顆粒+板藍エキス）を服薬指導し、さらに患者が医師よりレルベア以外に吸入フルタイド、プレドニンを処方して頂いた結果、7日間ほどで症状は改善していき、さらに1週間後にはほぼおさまった症例一例があったため報告する。